

特集 ～交通事故ゼロのまちを目指して～  
みんなで守ろう!交通安全

自転車の運転にも責任と危険が伴います。自転車運転中の死亡事故では、頭部負傷によるものが約5割を占めているため、運転の際は、まず、ヘルメットを正しく着用しましょう。頭の大きさに合ったものを着用して、あごひもを必ずしめてください。

また、自転車も自動車と同じ『車両』として扱われることから、一時停止などの交通ルールを守る必要があります。酒酔い運転などの危険行為は絶対にしないでください。

なお、平成30年4月1日から、埼玉県では自転車保険の加入が義務化されています。これは、被害者の救済だけでなく、加害者の



▲『KEEP38プロジェクト』シンボルマーク

コードからアクセス)をご覧ください。

・自転車

・歩行者

経済的負担の軽減を図るためのものであります。必ず加入しましょう。

交通事故を未然に防ぐためには、歩行者もドライバーへの思いやりを持つことが大切です。夕暮れ時や夜間に出掛ける際には、なるべく明るい色の服を選び、反射材を身に付けましょう。道路を横断する際は、サイン(合図)で横断する意思を伝えましょう。まず首を大きく振って左右の安全を確認し、次に手をあげる、ドライバーに顔を向けるなどして、横断する意思を明確に伝えるようにしましょう。

また、横断しない時は、横断歩道の近くに立たないようにするなど、ドライバーが迷わず停止できるように歩行者も配慮しましょう。



▲埼玉県警・道路横断時の安全行動イメージキャラクター『サインちゃん』

～交通事故ゼロのまちを目指して～  
みんなで守ろう!交通安全



※この写真は、交通安全啓発DVD用に撮影されたものです。危険ですので、絶対にまねをしないでください。

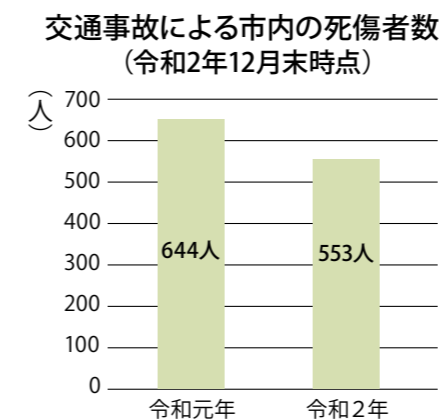
4月から新しい生活がスタートし、通学・通勤路や交通手段が変わったというかたも多いのではないのでしょうか。そんな時こそ気を付けなければならないのが交通事故です。今月は、交通事故をなくすために私たち一人ひとりに何ができるのか、考えていきましょう。

深谷市の交通事故状況

令和2年中の深谷市における交通事故死傷者数は553人(死者数は6人)です。市民の交通安全意識が高まってきていることもあり、令和元年と比べて死傷者数は91人減少しました。

しかし、令和2年12月には、市内で3件の死亡事故が立て続けに発生したことから、交通事故多発に伴う『深谷市緊急宣言』が発令されました。2月末をもって宣言は解除されましたが、油断はできません。

自動車、自転車、歩行者それぞれが守るべき基本的な交通ルールとマナーを確認しましょう。



守るべき  
交通ルールとマナー

・自動車

市内で発生した交通事故6件のうち4件は、夕暮れ時または夜間に発生した事故です。夕暮れ時には、早めのライト点灯を心掛け、視認性を確保するとともに、車両の存在を周囲に知らせましょう。

夜間の運転では、道路を横断する歩行者などを早期に見出すため、先行車や対向車がいなくても、ハイビーム(上向きライト)を適正に利用しましょう。

また、ドライバーの多くが見落としがちなのが、横断歩道を横断しようとしている歩行者がいる場合の一時停止義務(道路交通法第38条)です。埼玉県警察では、この道路交通法第38条の遵守を促す『KEEP38プロジェクト』に取り組んでいます。詳しくは埼玉県警察ホームページ(以下のQR)



自動車・自転車・歩行者それぞれの視点で  
何を注意したら良いか考えてみましょう!



答えはひとつじゃないよ! 交通事故をなくすためには、一人ひとりが交通安全について考え続けることが大切だね!



▲歩行者が道を渡ろうとしていることに気付いていますか? 自転車も急に方向転換するかもしれません。



▲斜め横断や横断歩道以外を渡る『乱横断』をしていませんか? また、手をあげるなど、『横断意思表示』が適切にできていますか?



▲ヘルメットの着用を忘れていませんか? 子どもを同乗させる場合の二人乗りまたは三人乗りのルールを守れていますか?



## さまざまな交通安全の取り組み

### 深谷市オリジナル交通安全啓発DVD

新型コロナウイルス感染症の影響により、市内小学校での交通安全教室を中止せざるを得ない状況が続いています。こうした状況下においても、これまで以上に交通安全の大切さを学べるようにするため、深谷警察署などの協力のもと、『深谷市オリジナル交通安全啓発DVD』を制作しました。

市内に実際にある危険箇所での撮影を通じた注意喚起など、小学生が興味を持って視聴できる工夫が随所に施されています。新4年生が今春受講する交通安全教室から視聴を開始する予定です。

### ふっかちゃんヘルメットサポート事業

市では、『ふっかちゃん子ども福祉基金』を活用して、新小学校1年生と年度途中転入生を対象に、『ふっかちゃんヘルメット』の購入補助を行っています。ヘルメットを着用することで、通学時や自転車運転中の子ども達の大切な命を守ると同時に、交通安全対策の推進を図っています。



▲ふっかちゃんヘルメット

### ふっかちゃんランドセルカバー

毎年、深谷交通安全協会および寄居地区交通安全協会から、新小学校1年生を対象に、『ふっかちゃんランドセルカバー』が寄贈されています。

明るい蛍光色に『ふっかちゃん』がデザインされ、暗い場所でも児童の居場所が目立つように工夫されています。



▲ふっかちゃんランドセルカバー



寄居警察署 堀口 晴幸 交通課長

※深谷・岡部地区は深谷警察署、川本・花園地区は寄居警察署が管轄となり、市は両警察署と連携して安全対策を行っています。

### 寄居警察署交通課長さんに聞きました！

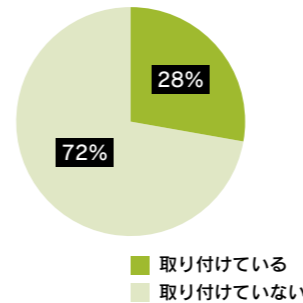
令和2年の交通事故発生状況は、人身・物件事故ともに令和元年と比べて減少しました。市民の皆さんが日々安全運転を心掛けてくださった結果です。

しかし油断は禁物です。令和3年1月から3月までの埼玉県内の交通事故件数は、昨年同時期と比べて増加しています。さらに、市内では、65歳以上の高齢者が関わる事故が多発しています。認知機能などの低下は、自分だけでは気が付かないこともありますので、家族や周囲のかたにサポートしていただき、場合によっては自動車運転免許証の自主返納もご検討ください。

交通事故が起こる原因はさまざまですが、ドライバーの『イライラ』、『焦り』、『疲れ』の度合いが高い時に事故が起こりやすくなります。時間に余裕を持って行動するなど、落ち着いてゆとりを持って運転してください。

また、交通事故を減らすためには歩行者側からの働きかけも大切です。道路を横断する際は、手をあげて『道路を渡りたい』と意思表示をすることで防ぐことができる交通事故もあります。皆さん、ぜひご協力をお願いします。

### ①車にドライブレコーダーを取り付けていますか？

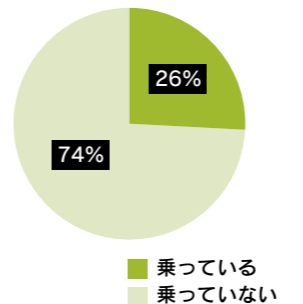


現在、県内では、高齢者が関わる交通事故が多発しています。交通事故で亡くなったかたのうち、高齢者の割合は、1月が58%、2月も68%と非常に多くなっているのが現状です。

高齢者が関わる事故を防止するため、深谷警察署では70歳以上の高齢者331人に対し、独自のアンケート調査を行いました。

その結果を示しているのが左記の円グラフです。①の設問で『ドライブレコーダーを取り付けている』と答えたかた、②の設問で『安全運転サポート車に乗っている』と答えたかたのいずれも、全体の30%に満たないという結果だった

### ②安全運転サポート車に乗っていますか？



ことがわかります。

無事故や無違反で年齢を重ねると、自分の運転への『自信』につながります。しかし、それが『過信』となってしまうと重大な事故を引き起こしかねません。

また、年齢とともに判断能力は低下してしまう傾向にあります。もしもの時のために、ドライブレコーダーを取り付け、安全運転を支援する『被害軽減（自動）ブレーキ』や『ペダル踏み間違い時加速抑制装置』などを搭載した安全運転サポート車に乗り換えるなど、事故の回避や被害軽減に向けて、できることから始めてみましょう。

## もしも運転に不安を感じたら… 免許証の自主返納もひとつの手段です！

### 高齢者運転免許自主返納サポート（シルバー・サポーター制度）

